



● 一章 異教徒よ、乳首教に入信しなさい？

○ 町のはずれ・教会の軒下

2. (雨が降っている。教会の軒下で雨宿りしているあなた)
3. (そこへ足音が聞こえてきて、マリアがやって来る)
4. 14 マリア「あら？ この教会に何かご用かしら？」
5. 9 マリア「雨宿り？」
6. 9 マリア「……そうでしたか。急に降ってきましたものね。よかったら中で休まれていますませんか？」
7. 9 マリア「ええ、構いません。これも主のお導きでしょう……わたくし、マリアと申し

ます」

8. (扉を開けるマリア)

9. 16 マリア「さあ、中へどうぞ」

○ 教会・中

10. (中に入って来るあなたとマリア)

11. 16 マリア「クララ！ いま戻ったわ」

12. (クララ、奥からタオルを持って来て)

13. 9 クララ「お帰りなさい、マリア。雨は大丈夫でしー……あら、お客様ですか？」

14. 9 マリア「軒下で雨宿りされていたのでお招きしたの」

15. 9 クララ「それはそれは……ゆっくりしていただくね。今、タオルを持ってまいります」

16. (立ち去るクララ)

17. 9 マリア「私とクララ、二人でこの教会の番をしているんです。町はずれの小さな教会ですが、私たちの大切な場所なんですよ」

18. 9 マリア「……ええ、そうです。ここで毎日、教徒の方々と一緒にお祈りを捧げています」

19. (クララ、タオルを持ってきて)

20. 10 クララ「お待たせしました」

21. 9 マリア「ありがとうクララ」

22. 10 クララ「どうぞ、こちらのタオルをお使いになってください。あと、着替えもお持ちしたので……」

23. 10 クララ「ええ、旅のお方のために用意していたものが残っていたんです」

24. 9 マリア「そうね。濡れたままでは風邪をひいてしまいますし……」

25. 9 マリア「(怪しげに) ふ……♡ さ、お着替えを手伝ってあげましょう」

26. 10 クララ「ええ」

27. (あなたに迫るマリアとクララ)

28. 2 クララ「一人でできるから大丈夫、ですか？ うふふ、いいんですよ。ほら、手を動かしてくださいませ」

29. 1 マリア「あらあら……こんなビショビショで……肌が透けて見えてるわよ……♡♡」

30. 2 クララ「胸も……乳首が透けて——」

31. 2 クララ「あら。うふふ、失礼いたしました。さ、ボタンを外していつてあげますね」

32. 2 クララ「何を心配していらっしゃるんです？ 私たちはただ、あなたを心配して……

ほら、一番上から外していきますよ。ひとつ、ふたつ、みっつ、よっつ、いつつ……♡

あと少し……はい、これでよし……シャツ、脱がしてあげますね」

33. (あなたのシャツを脱がすクララ)

34. 8 マリア「さ、タオルで体を拭いてあげましょう……頭もこんなにビショビショに濡れて……お顔も、そして……耳の中も、拭いてあげないとね……」
35. (あなたの耳の中をタオルで拭きつつ)
36. 7 マリア「タオルで……ぐりぐり……♡ りぐり……♡ りぐり……♡」
37. 7 マリア「まあ……ふふっ、そんなに肩を強張らせないでくださいな。それとも……ぞくぞく、してしまったのかしら？♡」
38. 1 マリア「ふふっ……ほら、首筋も拭いてあげましょう……そして、鎖骨……胸元を拭い……♡」
39. 1 マリア「……あら？ ふふ、くすぐったかったかしら？♡」
40. 2 クララ「背中も拭いて差し上げます」
41. 5 クララ「襟足を拭いて……首筋……背中をおりていって……脇腹も……ふきふき……ふきふき……♡」
42. 1 マリア「ふふ……すっかり緊張して……リラックスして？」
43. 3 クララ「あら？ ほんと……乳首が、ぷっくりしてます……♡ ねえ、マリア？」
44. 1 マリア「ええ……これは、期待できるわね……♡」
45. 9 マリア「いいえ、なんでもないですよ。気になさらないで」
46. 1 0 クララ「そういえばあなた、どうしてこんなところにいらっしゃったんですか？町からはずいぶん離れていますのに」
47. 1 0 クララ「……なるほど、三日後に町で開かれるお祭りの準備のために森に……そうでしたか」
48. 9 マリア「……やはりあなたも、異教徒なのね」
49. 9 マリア「……ええ、私たちは違うものを信仰しているんですよ。ですから、町の祭事には参加しないの」
50. 1 0 クララ「あら、雨が弱まって来ました。そろそろ止みそうですね」
51. 1 0 クララ「え？もうお帰りになるの？ そんな……寂しいこと言わないでくださいな」
52. 9 マリア「そうですよ……今、この教会の扉はすべて閉じられました……」
53. 8 マリア「あなたは、私たちの許可なく外にでることは出来ません……♡」
54. 1 0 クララ「さあ……こちらへ……ふふふ、私たちが不気味ですって……？ やつと気がついたんですか？ それとも、最初から気が付いていましたか？ でも……」
55. 3 クララ「何を期待していたんでしょうね……抵抗しなかったではありませんか♡」
56. 7 マリア「あなた、私たちが何を信仰しているのかご存じで？」
57. 7 マリア「いいえ……私たちは、乳首教の教えを信じているのよ」
58. 3 クララ「ふふ……乳首教を存じ上げない？ 私たちが、ゆっくりと……たつぷりと……その教えの素晴らしさを教えて差し上げますわ……♡」
59. 7 マリア「先ほどのあなたの反応……きっと乳首教の教えに感動していただけたと思

うわ」

60. 3クララ「雨に降られ、あなたはこの教会に導かれた……この出会いはきっと運命です。さあ、異教徒よ……」

61. 7 マリア・3クララ「乳首教に入信しなさい？」

●二章 乳首教ドスケベ聖女による、両耳なめ乳首責め

○教会・中

63. 15 マリア「これからじっくりと、あなたを乳首教に勧誘してさしあげるわ。ねえ、クララ？」
64. 11 クララ「ええ。先ほどタオルで体を拭いて差し上げたときの反応……素晴らしい素質をお持ちです。このお方にはぜひ乳首教に入っていたきたいです」
65. 15 クララ「ふふ……悪いようにはしません。そんなに怯えないでください」
66. 15 マリア「私たちにも信者を増やす使命があるのよ。しかし乳首教の教えでは、おおよけの場で勧誘するわけにはいかないの。私たちの教えに共感し、その肉体を持って教えを受け入れた人しか洗礼を受けることは許されません……こうしてあなたのような素質のある方に出会えたのは本当に幸運だわ」
67. 11 クララ「異教徒のかたが乳首教に入信するのは簡単なことではありません。でも、あなたならきっと私たちの考えを理解してくれるはず」
68. 3 クララ「そう……おちんぼからの快樂なんて邪道。本物の快樂は乳首から得られるのです……」
69. ↑無声
70. 7 マリア「本物の乳首快樂を教えてあげますわ」
71. 11 クララ「さ……そちらにお座りになってください」
72. (あなたを椅子に座らせるクララ)
73. 15 マリア「あら……ずいぶん素直になったじゃないの？」
74. 11 クララ「ふふ……あなたも心の中では思っているのでしょう。これからあなたに訪れる、素晴らしい快樂に身を任せたい、と……♡」
75. 15 マリア「ではさっそく、あなたに乳首教の素晴らしさを教えて差し上げるわ♡」
76. 15 マリア「クララ、じっくりと……優しく導いてあげましょう」
77. 11 クララ「ええ、マリア……時間はたっぷりあるわ。ゆっくりと楽しむことにしましょう♡」
78. 15 マリア「まずは……手の緊張をほぐして……何事も焦ってはダメなのよ。緊張していても快樂は手に入らないわ」
79. 3 クララ「手を開いて……ふふ、すごい手汗ですよ？ ほら……私の指と……あなたの指を絡ませっ……♡」
80. 7 マリア「腕から……肘……二の腕……♡ 雨で冷えた身体を、温めていきましようね」
81. 3 クララ「ふふ……いい体……♡ ねえマリア、早くこの方に乳首快樂の素晴らしさを

教えてあげたいです♡」

82. 7マリア「私も楽しみだわ……♡ 肩回りがほぐれたら……胸元に……♡ さっき拭いてあげたのに、汗でべたべたになってるじゃない。ほら……乳首の周りを、指でゆーっくりなぞってあげましょう♡ すりすり……♡ すりすり……♡ すりすり……♡ ふふ、くすぐったい？♡」

83. 3クララ「私の方も……すりすり……♡ すりすり……♡ すりすり……♡ あは……マリア、見てください。この方の乳首……こんなにぷっくりと膨らんでいます……♡」
84. 7マリア「日頃から自分でいじっているのかしら？ それとも、やはり素質があるお方なのかしら？♡ ふふ……ほら、まだまだ焦らしてあげましょう。すりすり……♡ すりすり……♡♡ すりすり……♡」

85. 3クララ「すりすり……♡ すりすり……♡ すりすり……♡ ほら……私たちの指が……くると円を描いて……あなたの乳首に近づいていきますよ……♡ すりすり……♡ すりすり……♡ すりすり……♡」

86. 7マリア「ふふ、声を我慢しなくてもいいのよ？♡ どんなに声を上げようが、誰にも聞こえないんだから……ここにはあなたと、私たちだけしかないのよ♡ すりすり……♡♡ すりすり……♡♡ すりすり……♡」

87. 3クララ「すりすり……♡ すりすり……♡ すりすり……♡ ふふ……あなたの首筋……汗が垂れて……舐めとってあげましょう♡」

88. (あなたの首筋を舐めたりキスしたりするクララ)

89. 3クララ「はあっ……あーん♡ じゅるる……ちゅ、ちゅ……ふふ♡ 首筋、感じるのかしら？ ちゅ、ちゅ……はあっ……じゅるる……ちゅ……ちゅ……はあっ……♡」

90. 7マリア「ほら、自分で見てみなさいな。あなたの乳首……こんなにコリコリになって♡ そろそろ触ってあげましょうか……♡ まずは指先で……ゆっくり、優しく撫でるように……こりこり……♡♡ こりこり……♡♡ こりこり……♡♡ こりこり……♡♡ あらあら……こんなに固くなって♡ 可愛い乳首だわ♡」

91. 3クララ「ちゅ……ちゅ……はあっ……♡ では、私もいじってあげましょう♡ うふふ、本当に可愛い乳首です……♡ 指先で、優しく……こりこり♡♡ こりこり♡♡ こりこり♡♡」

92. 7マリア「あらあら、可愛い顔しちゃって……♡ まだ優しく撫でてあげてるだけよ？ 気持ちいいのは、まだこれから……♡」

93. 3クララ「その通りです♡ ここからゆーっくり、乳首教の素晴らしさを教えてあげないといけませんから♡ ほら、二人で一緒にいじってあげますね？♡ コリッコリに勃起した乳首を……私たちの、指先で……優しく……♡」

94. 7マリア・3クララ「こりこり……♡♡ こりこり……♡♡ かりかり……♡♡ かりかり……♡♡ かりかり……♡♡」

95. 音声編集 ←同時に乳首責め音

96. 7マリア「ふふ……可愛い……♡ 耳はどう？一緒に責めてあげるわ♡ まずは、耳たぶからいただきますしうか♡（耳元で）あーん……はむっ♡ ちゅ、ちゅ、じゅるる……えあーん♡ んっ♡ ちゅ、ちゅ……ちゅ……♡」

97. ←音声編集 両耳に耳舐め音

98. 3クララ「こちらと一緒に……♡（耳元で）あーん……あむっ♡ じゅるる……ちゅ、ちゅ……♡ じゅるる……♡ お耳の周り、舌でなぞって行って……はあっ……♡ じゅるる……ちゅ、ちゅ……♡ んっ……ふふっ♡」

99. 7マリア「ふふ♡ 乳首のほうも、もう少しだけ強くしていきましょうか」

100. 3クララ「ええ♡」

101. 7マリア「親指と……人差し指で、ぷっくり勃起した乳首をつまんであげましょう♡ ほら……きゅってしてあげましょうね♡」

102. 3クララ「あらあら……ちよっと刺激が強かったですか？♡ 大丈夫です、すぐに気持ちよくなりますから♡」

103. ←音声編集 同時に乳首責め音

104. 7マリア「お耳も一緒に気持ちよくなりましょうね♡（耳元で）ちゅ、ちゅ……じゅるる……♡ ちゅ……はあっ♡じゅるちゅちゅじゅる♡ すごーい……♡ 乳首とお耳だけでこんなに気持ちよさそうな顔しちゃって……♡」

105. 3クララ「あーん……ちゅ、ちゅ……♡ じゅるるる……♡ ちゅ♡ ちゅ♡ はあっ♡ あむっ♡ じゅるるる……♡ ちゅ、ちゅ……♡ お耳の中も……舌でたっぷり犯してあげます♡（耳元で）はあっ……♡ んっ……じゅぼぼぼ♡ じゅ、じゅ、じゅ♡ はあっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる……♡ はあっ……♡ 乳首も、離してあげませんよ？♡ こりこり♡ こりこり♡ こりこり♡」

106. 7マリア「こっちのお耳も物足りないようね？ うふふっ……♡（耳元で）はむっ……♡ ちゅ、ちゅ……じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ はあっ♡ ふふっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる♡」

107. 3クララ「（耳元で）はあっ……じゅるる……んっ……♡ こうして……唾液を指につけて……じゅるる……♡ はあっ……♡ これで乳首をこりこりしたら……もっと気持ちよくなりますよ？♡」

108. 7マリア「ふふ、もっと乳首快楽を味わわせてあげる♡ かりかり♡ かりかり♡ こりこり♡ こりこり♡あらあら……乳首がぬるぬるになって……えっちねえ♡」

109. 3クララ「さっきよりも……少しだけ、強くつまんであげますね♡あなたの乳首を私の爪ではさんで……いきますよ……？♡ ぎゅーっ……♡ ぐりぐり……♡ ぐりぐり……♡ ぐりぐり……♡」

110. 7マリア「可愛い♡ 乳首ぎゅーってされて、真っ赤になっちゃって……♡私もあなたの乳首を爪で挟んで……ぎゅーっ……♡ ぐりぐり……♡ ぐりぐり……♡ ぐりぐり……♡ ふふ……まだまだこれからよ……？ ねえ、クララ？」

111.3クララ「ええ♡ ほら……乳首ぎゅーってしながら……お耳、じゅぼじゅぼ気持ちよくしてげますね♡ (耳元で) あーん……んっ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ じゅるる♡ じゅ……じゅ、じゅ♡ はあっ……♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡」

112.7マリア「(クララと同時に耳元で) じゅるる……♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ ふふっ♡ んっ……♡ じゅぼぼぼ♡ ふはっ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ あーん……じゅぼぼぼ♡」

113.3クララ「乳首……どんどん敏感になってってますよ……♡ さっきよりも……すぐく感じてますもの……♡」

114.7マリア「異教徒さん……♡ 必ず、あなたを乳首教に改宗させてあげるわ……♡ それこそが、幸せへの道なのよ……♡」

115.3クララ「(耳元で) あーん……んっ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ じゅるる♡ じゅ……じゅ、じゅ♡ はあっ……♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ んっ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ じゅるる♡ じゅ……じゅ、じゅ♡ はあっ……♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡」

116.7マリア「(クララと同時に耳元で) じゅるる……♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ ふふっ♡ んっ……♡ じゅぼぼぼ♡ ふはっ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ あーん……じゅぼぼぼ♡ んっ……♡ じゅぼぼぼ♡ ふはっ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ あーん……じゅぼぼぼ♡ ふふっ……♡ じゅるる♡」

117.3クララ「いいのですよ？ 今すぐ乳首教に入ると仰るなら……より強い乳首快楽を授けてあげられます」

118.7マリア「ふふ……♡ こんなに感じてるのに……入信は承諾しないのね♡ 強情な方♡」

119.3クララ「ふふ♡ 時間はまだまだたっぷりありますし……大丈夫、あなたは必ず、乳首快楽に堕ちますから……♡ ほうら、このコリコリになった可愛い乳首……見えませんか？ ぶっくり勃起してます……♡」

120.7マリア「私たちに挟まれて、いじられて……息を荒げて……はずかしいわね？ うふふもっと、責めてあげる♡ ぎゅー……っ♡ くりくり♡ くりくり♡ くりくり♡」

121.3クララ「お耳も、私たちの唾液でじゅぼじゅぼになってます♡ されるがままですね♡」

122.同時に乳首責め音

123.7マリア「(耳元で) あーんっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる……♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ ぢゅ、ぢゅ……はあっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる……♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ ぢゅ、ぢゅ……はあっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる……♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる……真っ赤になっちゃって……可愛い人♡ じゅるる♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる……ぢゅ、ぢゅ

……♡ はぁっ……♡」

124.3 クララ「(マリアと同時に耳元で) ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるる……♡ 乳首、どんどん気持ちよくなっていきますね……♡ お耳もとうけて……♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅるる♡ はぁっ♡ じゅぽぽぽ♡ じゅぽぽぽ♡ じゅるる……んふふっ♡ じゅぽぽ♡ んっ……♡ じゅるる♡ ちゅ……ちゅ……じゅるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅぽっ♡ じゅ……じゅぽぽぽ♡ はぁっ♡ はむっ♡ ちゅ、ちゅ……♡ じゅるる……♡ はーっ♡」

125.7 マリア「ふふ……乳首だけじゃなくて……おちんぼもこんなに勃起させちゃって♡ 乳首とお耳をいじられただけに……大きくなっちゃったのねえ♡ ガツチガチになってるわ……♡」

126.3 クララ「ふふ……おちんちんも、触ってあげましょう♡」

127.↑ 無声

128.7 マリア「二つの快楽を同時に味わって……もっと淫らに喘いで……乳首快楽におぼれなさい♡」

●三章 乳首責め、手コキ

○教会・中

129.3 クララ「すごい……おちんちん、パンパンになってます……♡ こちらは私が責めてあげますね」

130. (ゴソゴソとあなたの前に跪くクララ)

131.7 マリア「分かったわクララ。では、私は……」

132. (あなたの後ろにまわるクララ)

133.5 マリア「あなたの後ろから、両方の乳首とお耳を可愛がってあげるわ♡」

134.4 マリア「ふふ……ほうら、もう物足りそうな顔してるものね？♡ 乳首、ぎゅーってしてあげるわ♡」

135.5 マリア「ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ふふっ……♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり……♡」

136.9 クララ「パンツ、脱がしてあげます……♡ ふふ、マリアが乳首をいじるたびに、腰がガクガクしてますよ？♡ 今、ガチガチのおちんちん……触ってあげますからね♡ ほら、腰を浮かせてください……そうです……ん……しょ……」

137. (ベルトを外し、パンツを脱がせるクララ)

138.6 クララ「まあ……♡ 立派なおちんちん……♡ こんなに先走りを垂らして……苦しかったでしょう？♡」

139.5 マリア「ほら……乳首も休んでる暇はありませんよ？♡ ぎゅーってつまんであげて……♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり……♡」

140.6 クララ「ふふ……♡ ここからだ、あなたの気持ちよさそうなお顔がよく見えます♡」

141.5 マリア「ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり……♡ ぎゅー……♡ ふふっ♡ 指で、乳首をカリカリするのも気持ちいいのよ？♡ ほら……かりっ♡ 鋭い快感が……たまらないでしょう？♡ かりっ♡ かりっ♡ かりかりかりっ♡ ぎゅー……っ♡ ふふっ……♡ おちんぼがピクピクしてる……♡ かりっ♡ かりっ♡ かりかりかりっ♡ ぎゅー……っ♡」

142.6 クララ「さあ……そろそろおちんちんも責めてあげましょう♡ お手手で優しく……触ってあげて……♡ まあ……すごい熱くなって……ガッチガチのおちんちん……♡」

143.5 マリア「おちんぼ撫でられただけで感じるのね？ 乳首の気持ちよさで、頭がふわふわしているでしょう？♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり……♡ かりっ♡ かりかりかりっ♡」

144.↑音声編集同時に乳首責め音

145.1クララ「先走りを……手のひらにまとわせて……そっと包み込んで……♡ 上から下に……♡ 下から上に……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ 声、我慢しなくていいんですよう♡ 可愛らしい喘ぎ声、聞かせてくださいな♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ そう……♡ もっと感じていいんですよ♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡ しこしこ……♡」

146.5マリア「乳首とおちんちん同時に責められて……どう？♡ もっと欲しいかしら？♡ コリコリの乳首……♡ ぎゅーってして……♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ かりかりかり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり……♡」

147.1クララ「乳首と一緒に……おちんちん、どんどん早くしていきましようか……♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ 勝手にイっちゃだめですよ？ そんなの、許しませんからね♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡」

148.5マリア「すごい……あなたの背中から……熱が伝わってくるわ……♡ 汗ばんだ肌………♡ どんどん熱くなってくるの……♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり……♡ ここからだ、乳首を責めながらお耳もいじめてあげられるの……♡ どう？ してほしいんでしょう？ 乳首と、おちんちんと………」

149.4マリア「耳舐め♡」

150.1クララ「おちんちん、あなたの先走りでどんどんぬるになっていきます……♡ 両手で、気持ちいいところゼーんぶしごいてあげます……♡」

151.↑音声編集 手コキ音と乳首責め音

152.4マリア「ふふ……♡ じゃあ、乳首ぐりぐりしながら……お耳、いたたくわ♡」

153.3マリア「あーん……あむっ♡ ちゅ、ちゅ………じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ はあっ♡ すごい可愛い声……もっと、喘いで？♡ あーん……あむっ♡ ちゅ、ちゅ………じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ はあっ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ ふふっ……♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅるる……ちゅ、ちゅ♡ おはっ♡」

154.↑音声編集 耳舐めおと 乳首責め音

155.1クララ「すごいです……♡ おちんちん、もうパンパンで……♡ あっつい……♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しごきながら……右手では亀頭めづしごしこすってあげます♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡ もう少し……早くしちゃいましょうか♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡ ぐっぐっ♡」

156. ↑乳首責め音、手コキ音

157. 3 マリア「お耳と乳首も、もっと……♡ あーん……あむっ♡ ちゅ、ちゅ……じゅるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるる♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ はあっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ ふふっ……♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるる……ちゅ、ちゅ♡ じゅ♡ じゅるる♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ はあっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅぼぼぼ♡ ふはっ♡」

158. 1 クララ「マリア、私も乳首を責めて差し上げたいです♡」

159. 4 マリア「ええ、もちろん♡ では、二人でたっぷりいじってあげましょう♡ こちらへ来て?」

160. (あなたの両隣へ移動するマリアとクララ)

161. ↑無声

162. 3 マリア「私とクララで……一緒におちんぼごししてあげるわ♡」

163. ↑無声

164. 7 クララ「乳首は……お口で責めてあげます♡」

165. 3 マリア「クララの手と、私の手でおちんぼ挟んであげて……♡両乳首は私たちの口でねぶってあげるわね……♡」

166. 7 クララ「ふふ、両乳首攻め手コキ……あなたに耐えられるでしょうか?」

167. ↑同時に乳首舐め音

168. 7 クララ「じゅ♡じゅ♡♡ ごし♡ごし♡♡ ごし♡ごし♡♡ ごし♡ごし♡♡ 二人の指と指を絡ませっ……しっかりいじってあげますから♡」

169. 「ちゅきとはまた違った快感がありますでしょう?♡」

170. ↑同時に乳首舐め音

171. 3 マリア・7 クララ「じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡」

172. 3 マリア「んっ……♡ ふふ♡ イクのはまだ少しおあずけ♡ たーっぷり焦らしてあげるんだから♡」

173. 3 マリア・7 クララ「じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡ じゅ♡じゅ♡♡」

174. 7 クララ「ふふ、乳首がぷっくりして……早く指で触ってほしそうにしますね……♡」

175. 3 マリア「お口で吸い上げて、舌で転がして……しっかり責めてあげる♡」

176. 7 クララ「ええ♡」

177. ↑同時に手コキ音

178. 2 マリア「はむっ……♡ ちゅ、ちゅ……♡ じゅるる♡ じゅるる♡ はあっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるる♡ じゅるる……♡ んっ♡ じゅるる♡ はあっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるる♡ じゅるる……♡ んっ……はあっ♡」

179. 8 クララ「(同時に)あむっ♡ じゅるる♡ はあっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるる

♡ じゅるる……♡ んっ♡ じゅるるる♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ はあっ♡ じゅるる
……♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ぢゅ……じゅるるる♡ ふは……♡」

180.2 マリア「舌先で、たっぷり弾いてあげましょう♡」

181.8 クララ「コリコリの乳首……ふふっ♡ じゅるる……♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる
……♡」

182.2 マリア「あむっ♡ じゅるるる♡ はあっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅる
る……♡」

183.8 クララ「おちんちんも……もう気持ちいいの限界ですか？♡ まだ我慢、できますよ
ね？♡ あむっ♡ じゅるるる♡ はあっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅる
る……♡」

184.2 マリア「どんどん声が漏れてきてるわ……もっと乱れていいの♡ ちゅ、ちゅ♡
じゅるるる♡ じゅるる……♡ んっ♡ じゅるるる♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ はあっ♡
じゅるる……♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ちゅ……じゅるるる♡」

185.8 クララ「(マリアと同時に) んっ♡ じゅるるる♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ はあっ♡ じ
ゅるる……♡ ぢゅ♡ ぢゅ♡ ちゅ……じゅるるる♡ んっ♡ じゅるるる♡ ぢ
ゅ♡ ぢゅ……♡」

186.2 マリア「んっ……♡ ふふ♡ 刺激が物足りないかしら？♡ いいのよ、素直になり
なさい♡ もっと気持ちいいところに行けるの……♡ ねえ、クララ？」

187.8 クララ「ええ……♡ たっぷり責められて敏感になった可愛い乳首……お口で吸い
上げて、舌で転がして……甘噛み、してあげます♡」

188.2 マリア「ぢゅ♡ ぢゅ♡ ちゅ……じゅるるる♡ んっ♡ じゅるるる♡ ぢゅ♡
ぢゅ……♡ 甘噛み……鋭い刺激で……いっぱい気持ちよくなっちゃうから気を付け
てね？♡」

189.8 クララ「ではさっそく……♡ あーんっ……♡ はむっ……♡ じゅるる……♡
可愛い乳首……♡ あむっ♡ んっ……♡ ふふ♡ もっと噛んであげます……♡
あむっ♡ はぐっ♡ ちゅ、ちゅ……♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ あむっ♡
じゅるる……♡」

190.2 マリア「すっかり乳首で感じるようになったわね……♡ あーん……ちゅ、ちゅ……
♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はぐっ♡ んっ……♡ ふふ♡ 乳首快樂、たっ
ぷり味わってちょうだい♡ ちゅ、ちゅ……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はぐ
っ♡ んっ……♡ じゅるる♡ じゅるる♡ はぐっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるる…
…♡」

191.8 クララ「……ん？ なんでしょうか？ イキそう……♡ ふふ♡ そうですか…
…マリア、どうしますか？」

192.2 マリア「そろそろイカせてあげようかしら……♡ 乳首、たっぷりいじめてあげるわ
♡ あーん……ちゅ、ちゅ……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はぐっ♡ んっ…

…♡ じゅるる♡ じゅるる♡ はぐっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるる……♡」

193.8クララ「(マリアと同時に)はぐっ♡ んっ……♡ じゅるる♡ じゅるる♡ はぐっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるる……♡ じゅ♡ じゅ♡ あーん……ちゅ、ちゅ……♡ じゅるる♡ じゅるる♡ はぐっ♡ んっ……♡ ふふ♡」

194.2マリア「さあ……あなたのザーメン私たちの手の中に思いっきり射精してください♡♡

195.2マリア・8クララ「びゅーびゅー♡ びゅーびゅー♡」

196.2マリア「……ふふ♡ すっっ……♡ どうぶるのくっさいザーメンが私の手にいっぱい……溜まっていたのかしらっ♡」

197.8クララ「乳首の快感でイッちゃいましたね……♡ 本当の乳首快樂まであと少し、でず……♡」

やふ♡」

213.8クララ「あーんっ♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はあっ♡ んっ……はぐっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はぐっ♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡」

214.2マリア「(クララと同時に)ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ もう少し強くしてあげる♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡」

215.8クララ「おちんちん……おっきくなってきました……♡ ふふっ♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はあっ♡ んっ……はぐっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はぐっ♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡」

216.2マリア「クララ、一緒にお耳も責めてあげましょう♡ この方、お耳と乳首、一緒に責められるのが好きみたいだから♡」

217.8クララ「ちゅ、ちゅ……♡ ええ、分かったわマリア」

218. (あなたの耳元に移動するマリアとクララ)

219.7クララ「(耳元で)お耳、いただきます♡」

220.3マリア「(耳元で)ふふ……いただくわ♡ あーんっ……じゅ……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ ちゅ、ちゅ♡ んっ……はあっ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ ふふっ♡ じゅるるる♡ じゅる……ちゅ、ちゅ♡ はあっ♡」

221.7クララ「乳首も、ちゃんと気持ちよくして差し上げますから♡ 唾液でぬるぬるになったあなたの乳首……いっぱいいじめてあげますね……♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ どうですか？ 先ほどよりも快感が増すでしょう？♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡」

222.3マリア「ほら、もっと喘いでいいわよ……♡ おちんぼちゃんとしがいてあげないと♡ っっっっ♡ っっっっ♡ っっっっ♡」

223.↑同時に手コキ音

224.7クララ「(耳元で)お耳……はあっ……♡ あーん……はむっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ じゅ……♡ 体、熱くなってます……♡ 気持ちよさそうです♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ んっ……♡ じゅるるる♡ はーっ♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ……ぶはあっ♡ 乳首も、ずっとコリコリです……♡ ふふっ♡」

225.3マリア「強い刺激が欲しいかしらっ♡ ふふ♡ あげてもいいわよ……♡ ほら……♡ ぎゅーっ♡ ぎゅーっ♡ あは……♡ 可愛い声……もっと聞かせてちょうだいっ♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ふふっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡」

226.7クララ『乳首ぐりぐりされて気持ちいいです』って、ちゃんと言わないとだめです

よ？ ほら、聞かせてください♡」

227.↑無声

228.7クララ「・・・もっと大きな声で♡」

229.7クララ「よく言えました……♡ 乳首とお耳、もっといっぱいいじめてあげますから

ね♡ (耳元で)はむっ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅるるる♡ じゅ♡

じゅ♡ 私たちに乳首いじめられながら……おちんちんしごいて……♡ ふふ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡」

230.3マリア「うっうっ♡ ごっごっ♡ どんどん早くなってく……♡ ふふ♡ イキそう？ いいわよ、自分でしごいてイっちゃうところ、私たちに見せてみなさい？♡ (耳元で)あーん……はむっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ じゅ……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ んっ……♡ じゅるるる♡ はーっ♡ じゅ♡

じゅ♡ んっ……ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ はーっ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ ぽろ、ごっごっ♡

♡ がんばれ♡ あーんっ……じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ ぽろ、ごっごっ♡ 231.7クララ「クララと同時に耳元で)ちゅ、ちゅ♡ んっ……♡ じゅるるる♡ 可愛

い方……♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ はあっ♡ はむっ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ あーん……じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ ちゅ、ちゅ♡ ふふっ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅるるる♡ んっ……じゅるるる♡ はーっ♡ じゅぽぽぽぽ♡」

232.3マリア「ふはっ……♡ 出しなさい♡ ザーメン、びゅーびゅーっ♡ びゅーびゅー♡」

233.7クララ「びゅーびゅー♡ びゅーびゅー♡」

234.3マリア「……ふふ、またたっぷり射精したわね……♡ すごいザーメン……♡」

235.7クララ「これだけ乳首をいじられながらイったんです、もうすっかり乳首じゃないとイけない身体になっちゃったんじゃないですか？♡」

236.↑無声

237.7クララ「変態♡」

238.↑無声

239.3マリア「ふふ、あなたが乳首教に入ると申し出るのも……時間の問題でしょうね……♡」

● 五章 乳首教へようこそ、生ハメ騎乗位乳首責め洗礼

○ 教会・中

241.3 マリア「もう無理……ですって？ ふふ、まだまだこれからよ♡ ねえ、クララ♡」

242.7 クララ「ええ……♡ だって乳首はまだこんなにコリッコリに勃起します……♡」

243.3 マリア「さあ、最後の仕上げです……♡ クララ、もう一度丁寧にお口で乳首を責めてあげましょう♡」

244.7 クララ「分かったわクララ」

245.3 マリア「ふふ……あなたもすっかり逃げる気はなくなったようね……いいえ、どちらにせよ逃げられない♡ 逃がさないわ♡ あなたはもう乳首快楽に堕ちていくだけ♡」

246.8 クララ「じゅ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ コリコリの乳首……♡ 美味しい、です……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はぐっ♡ んっ……ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ はーっ……♡」

247.2 マリア「じゅるるる♡ 見てみなさい、私たちにいじめつづけられた可愛い乳首……ふふっ♡ あーんっ……はぐっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡」

248.8 クララ「乳首でこんなに感じるなんて……女の子みたいです♡ ふふ♡ 可愛い……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ ちゅ……ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ はぐっ♡ じゅるるる♡ ふふっ♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ はーっ♡」

249.2 マリア「(クララと同時に) あーんっ……ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ ふふ♡ おちんぼもまた勃起してきた……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ んっ……はぐっ♡ ふふっ♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ ぷはっ……♡」

250.8 クララ「ここへ来た時とは比べ物にならないくらい……乳首が敏感になってますよ……♡」

251.2 マリア「ふふ♡ これだけ乳首で快感を得られるようになったんだもの……もう普通の生活には戻れないわよ？♡」

252.2 マリア「さあどうするの？ 乳首教に入信するなら、生でハメながら乳首責めしてあげるわよ？」

253.8 クララ「こんなにおちんちん勃起させて……今オマンコしたら、さぞ気持ちいいでしょう……♡」

254.3 マリア・7クララ「……さあ、乳首教に入信しますか？」

255.2 マリア「……ふふ♡ 乳首教に入信する……と♡ やっと承諾してくれたわね♡」

256.8 クララ「あなたは今日から私たちと同じ教えのもとに生きるのです。大いなる快楽を享受しましょう……♡」

おっ♡ おっ♡ イきそ……♡ はーっ♡ はーっ♡ おっ♡ おっ♡ いぐっ……♡
♡ いっ♡ いっちゃう♡ はあっ♡ イクッ……イグウウウッ♡♡」

274.1 マリア「うっ……んっ……はーっ♡ はーっ♡ うっ……はあ、はあ……♡ まさか、
あなたにイカされるなんて……♡ ふふ、私も生ハメは久し振りだったから……気持ち
ちよくなっちゃったわ……はーっ♡ はーっ……♡ クララ、あとお願いできる……
っ♡♡」

275.8 クララ「ええ、もちろん♡ ふふ……♡ さ、今度は私が上になってあげます……♡」

276.9 クララ「気持ちよさそうなマリア見てたら……私のオマンコも……もうこんなび
しょびしよです……♡ はーっ……♡ はーっ……♡ ふふっ♡ ザーメン、中にた
っぷり出してくださいね？♡ ガチガチのおちんちん……♡ んっ……♡ はあっ♡
はあっ♡ あなたのおちんちん……おっきい♡ おまんこ……きつついです……♡
あっ♡ はあっ♡ んんっ♡ はあっ♡ はあっ♡ ふふ……あなたの上にしゃが
みこむようにして……こうして……んっ♡ はあっ♡ はあっ♡」

277.1 クララ「ほら……こうすれば、ピストンしながらあなたの乳首も責めてあげられるん
ですよ？♡ ふふっ♡ いっぱい気持ちよくなりましょうね？♡」

278.2 マリア「クララの騎乗位……乳首教徒の間で、たまらなく気持ちいいと評判なの……
♡♡ しっかり射精まで導いてもらいなさい♡」

279.1 クララ「動くわよ……うっ……♡ はっ♡ あっ♡ はあっ♡ はあっ♡ はあっ♡
♡ 気持ちいい♡ ふふっ♡ ほらほら♡ 乳首もぐりぐりしてあげますからね……
♡ はあっ♡ あっ♡ あっ♡ コリコリの乳首、いっぱいいじめてあげます♡
ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ んっ♡ はあっ♡ はあっ♡
乳首いじられて……おちんちんまた硬くして♡ もうすっかり乳首快楽の虜ですね♡
ほら、ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡
ぎゅーっ♡ ふふっ♡ はあっ♡ あっ♡ んっ……♡ はあっ♡ はあっ♡ はあ
っ♡」

280.2 マリア「クララにオマンコしてもらいながら、乳首までいじめてもらっちゃって……
♡ 良かったわねえ？ 私、じゃあ……お耳、いじめてあげましょうかしらっ♡」

281.3 マリア「(耳元で)あーん……はむっ♡ ちゅ、ちゅ♡ じゅるるる♡ ふふっ♡ じゅ
ぽぽぽぽ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅぽぽぽぽ♡ はあっ♡ じゅ♡ じゅるるる♡
えあーん♡ んっ♡ じゅぽぽぽぽ♡ じゅるるる♡ はあっ♡ じゅぽぽぽぽ♡」

282.1 クララ「はあっ♡ はあっ♡ ふふっ♡ あなたののおちんちん、とても……♡ はあ
っ♡ あっ♡ きもちいい……♡ はあっ♡ はあっ♡ 乳首ぎゅーぎゅーしてあげ
ますからね♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ おっ♡ おほっ♡
♡ ぎもちいい♡ はあっ♡ はあっ♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐ
りぐり♡ コリコリの乳首……♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ はあっ♡
はあっ♡」

283. 3 マリア「えあーん♡ はむっ♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ♡ じゅぼ
ぼぼ♡ はあーっ♡ もう限界かしら……？ びゅーびゅーしたくしょうがない
んじゃない？ ふふっ♡ あむっ♡ じゅるるる♡ じゅぼぼぼ♡ じゅ♡ じゅ♡
♡ はあっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ おはっ♡」

284. 1 クララ「はあっ♡ はあっ♡ イキそうですか？ ええ♡ いいですよ、私のオマン
コにたっぷりザーメン注いでください♡ オマンコで、いっぱいいごいてあげます♡
乳首も、忘れずに♡ ぎゅーっ♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ピストン、
早くしていきますね……♡ はっ♡ はっ♡ はっ♡ おっ♡ んっ……♡ おほっ
♡ ぎもぢっ♡ んっ♡ おっ♡ はあっ♡ はあっ♡ はっ♡ ああっ♡ 乳首ピ
ンピンになってるの♡ 乳首の刺激で、イけますよね？ はあっ♡ はあっ♡ おっ
ほ♡ オマンコ、ぎもぢっ……♡ はあっ♡ はあっ♡ コリコリに勃起した乳首…
…♡ ぎゅーっ♡ ぎゅーっ♡ 中にだしてくださいっ♡ あっ♡ ああっ♡ はあ
っ♡ はあっ♡ はあっ♡ はあっ♡ んっ♡ はあっ♡ はあっ♡ はあっ♡ な
かっ……出して♡ うっ♡ はあっ♡ はあっ♡ イって♡ イッ……♡ おっ♡
おほっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ ほらっ♡ びゅー♡ びゅー♡ びゅー♡ びゅー♡
びゅー♡ あっ……♡ はあっ……♡ はーっ♡ はーっ♡ あなたのザーメン、た
っぷりもらっちゃいました……♡ はあっ……♡ はあっ……♡ はあっ……♡ ふ
ふ……♡」

285. 2 マリア「乳首いじめられながらイッちゃのね……♡ ふふ♡ こんな気持ちいいの
経験しちゃったら、もうこれを覚える前のあなたには……戻れないわね……♡」

●六章 乳首教洗礼儀式

○教会・中

287.2 マリア「あなたの乳首は今日から、私たち乳首教のもの♡」

288.8 クララ「その祝福として、あなたの体を乳首でしか感じない変態マゾ乳首奴隷にさせる儀式を行います……♡ 恐れる必要はありません。儀式は簡単なものですから……♡ 霊力を帯びた私たちの指であなたの乳首をねぶって、乳首の感度を何倍にもして、二度と宗派変えできないようにします」

289.2 マリア「呪いとともに洗礼は完了するわ。楽しみね♡ さあ誓いさない？」

290.3 マリア「私は心神深い、乳首教信者です。一生乳首でしか感じない、変態マゾ乳首奴隷です——」

291.7 クララ「私たち聖女に乳首をねぶられ続けることを誓います……さあ、一緒に。復唱してください♡」

292.3 マリア・7クララ「私は心神深い、乳首教信者です。一生乳首でしか感じない、変態マゾ乳首奴隷です。私たち聖女に乳首をねぶられ続けることを誓います♡」

293.3 マリア「……よく言えました♡ では儀式を行いました。私たちのこの指で、あなたの乳首の感度を狂わせてあげる……♡」

294.7 クララ「コリッコリにたつてる乳首……人差し指で……ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ふふ♡ どんどん気持ちよくなっていきますよ？ 覚悟してくださいね……♡」

295.1以降、同時に乳首責め音

296.3 マリア「自分で見てみなさい？ ぶっくり勃起した恥ずかしい乳首……♡ 指でつまみあげて、たっぷりねぶってあげる♡ ぎゅーっ♡ ふふ♡ もっと欲しい？ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ 呪いの効果が出てきたようね……ふふ♡ 感度がどんどん上がっていくわよ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡」

297.7 クララ「ぎゅーっ♡ かりかり♡ かりかり♡ かりかり♡ ほんと、可愛い乳首です……♡ 呪いの効果は実感してるかしら？ 先ほどよりも快感が高まっているでしょう？ ふふ♡ いいんですよ、たっぷり快楽を味わってください♡ ほら、可愛い乳首……もっと強くいじめてあげます♡ ぎゅーっ……♡」

298.3 マリア「あは……♡ こんな喘いじゃって……♡ ほらほら♡ もっと声だしなさい♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ 自分でちゃんと見て♡ 私たちの手で、乳首がねぶられてるところ♡ 恥ずかしい恰好……♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡」

299.7 クララ「可愛いですよ……♡ 乳首責められて喘いでるあなた……♡ ぎゅーっ♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ ぐりぐり♡ もっと気持ちよく……指先で、引っ掻くよう

にしてあげましょう……♡ かりっ……♡ かりかり♡ かりかり♡ かりかり♡ かりかり♡♡ ふふ、さっきより鋭い快感を味わえますでしょう？ かりかり♡ かりかり♡♡ 「かり♡ かりかり♡ かりかり♡」

3 マリア「呪いによってすっかり身体が変わったようね♡ 乳首から得る快感は、もうオチンポより遥かに大きいはず……♡ ギューっ♡ かりかり♡ かりかり♡」

7 クララ「お口で一度ほぐしてあげましょう……♡」

8クララ「あーんっ……はむっ♡　ぢゅ♡　ぢゅ♡　じゅるるる♡　ふふ♡　舌の上
で、コリコリになった乳首を感じます♡　じゅるるる♡　ぢゅ♡　ぢゅ♡　じゅるる
る♡　ぷはっ♡」

2 マリア「こちらと一緒に……んっ……あむっ♡
♡ 甘噛みも、してほしいでしょう？ ふふ♡
♡ ちゅ♡ ちゅ♡ はぐっ♡ じゅるるる♡ ちゅ♡ ちゅ♡」
♡ じゅるるる♡ ちゅ♡ じゅるるる♡

8クララ「(耳元で) もうイキそうなんじゃないですか……? ふふ♡ ほら、唾液でぬるぬるになった乳首……指先でたーっぷりいじめてあげますからね♡」

2 マリア「乳首アクメきめて、今までの人生にさよならしなさい♡」

7クララ「ぬるぬるの乳首……指先でなでまわすようにしてあげて……。ぐりぐりぐりぐり♡
ぐりぐり♡
ぐりぐり♡
ぐりぐり♡」

3 マリア 「ぐりぐり♡ りりり♡ りりり♡ りりり♡
指先で弾くように…

7クララ「かりかり♡
み上げるように……♡
りぐり♡　ぐりぐり♡
かりかり♡
ぎゅーっ♡
かりかり♡
かりかり♡
そのまま……ぐりぐり♡　ぐ
りぐり♡　ぐりぐり♡」

3 マリア「ふふ♡ あなたが感じる気持ちいい責め方はゼーんぶ把握したわ……♡
ほら、指でねぶりながらお耳もサービスしてあげる♡ 乳首アクメ、しなさい♡」

7クララ「(耳元で) あーんっ……はむっ♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ♡

じゅばばば♡ じゅ♡ じゅるるる♡ はあっ♡ じゅばばば♡ じゅ♡ じゅ♡

んふふっ♡ じゅばばば♡ じゅるるる♡ じゅばばば♡」

3 マリア 「クララと同時に耳元で」 いただきます♡……はむっ♡ じゅるるる♡
 じゅ♡ じゅ♡ んっ♡ じゅぽぽぽ♡ じゅ♡ じゅ♡ ふふ……っ♡ じゅぽ
 ぽぽ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ はあっ♡ じゅぽぽぽ♡ じゅるるる♡ じゅぽ
 「ぽぽ♡」

7クアラ「イってしまいそう……?」♡ ふふっ♡ では、もつと強くねぶって差し上げますね♡ (耳元で)あむっ♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅ♡ じゅるるる♡ はあっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡ んふふっ♡ じゅぼぼぼ♡ じゅるるる♡ じゅぼぼぼ♡「」♡

313. 3 マリア「(クララと同時に耳元で)はむっ♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ♡
♡ じゅぽぽぽ♡ じゅ♡ じゅ♡ ふふ……っ♡ じゅぽぽぽ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるる♡ はぁっ♡ じゅぽぽぽ♡ じゅるる♡ じゅぽぽぽ♡」

314. ↓ 無声

315. 3 マリア「……あは♡ 乳首アクメきめちゃったわね……♡」

316. ↓ 無声

317. 7 クララ「これから、あなたの第二の人生が始まるのです♡」

318. 3 マリア・7 クララ「ようこそ、乳首教へ♡」

319.

320. 耳舐め音ループ

321. 乳首責め音ループ かりかりかり

322. 手コキ音ループ しこしこしこしこ

323. 30 秒づつ

324.

(おわり)